

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

	コペルプラス浜松幸教室		
○保護者評価実施期間	2026年 6月 15日 ～ 2026年 7月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49 (回答者数)	37
○従業者評価実施期間	2026年 7月 27日 ～ 2026年 7月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 8月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎月変わる豊富な教材や歌などの充実したプログラムに加え、個々のお子さまのニーズに沿った個別支援課題を取り入れて提供している。	その日の体調や気持ちに合わせて取り組む課題の順番を入れ替えたり、同じ教材でも提示方法を工夫して飽きることなく取り組めるようにしている。 出来ているだけでなく、取り組みの過程や向き合う姿勢を褒めて自信に繋げている。	興味の薄い課題にも楽しく取り組めるような課題の提示の仕方や内容の精査、支援方法の技術研鑽に努めていく。
2	親子通所のため、支援内容を保護者に観察していただきながら、今後の目標や支援方法について共通理解を持って進めていくことが出来る。 毎回フィードバックの時間を確保し、その日の様子だけでなく園での様子やご家庭内での様子を共有することで、支援内容に活かすことが出来る。	実際のレッスンの様子を見ていただき、イメージを持った状態で速やかに情報共有を行うことで、理解を深めている。 日々のお悩みや困りごとを丁寧に伺い、関わり方について一緒に考えたり相談に乗れる体制を整えている。	フィードバック時以外にも気軽に相談できる雰囲気づくりを目指す。また、要望に応じて園訪問を行い、関係各所と連携を図りながら支援していく。
3	ご希望に応じて、2～5名の小集団レッスンと個別レッスンの両方を提供している。 個別で丁寧に取り組んだ課題を、少人数の友達がいる環境で取り組む経験を重ねることが出来る。	小集団の中での「見る力」「聞く力」を育み、他児と関わる経験を積み重ねることで、社会性やコミュニケーション力の向上を目指して支援を行っている。	サポートに入る指導員を適切に配置し、小集団レッスンでも安心して課題に取り組めるように環境を整える。 通常利用日以外のご利用可能な日をあらかじめお伺いして、積極的にお誘いしている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園等との交流や、地域と活動する機会がない。	地域との交流に関して、利用者や地域の方々のニーズを把握が出来ておらず、活動内容が定まらない。	利用者へのアンケート実施を通して調査を行い、実現可能な活動について検討していく。
2	食事や排せつなどの生活動作訓練の実施が難しい。	1時間の個別療育であるため、生活動作を伴う支援には限りがあるが、可能な範囲で行えるよう個別支援計画に導入しながら取り組んでいる。	生活動作の部分的訓練については、通常のプログラムに加え保護者の要望なども取り入れながら内容を検討し、支援を継続していく。
3	ほとんどのお子さまが園と併行通園のため、午前中のご利用が少ないこと。	早期療育が重要であることを知っていただくための周知活動が行えていない。	相談支援事業所や保健センターなどに足を運び、当事業所の支援内容や取り組みについて知っていただく。 HPやInstagramを活用し、周知を図る。